



✿ひとびとのさまざまな困難に向き合う

✿ひとびとの幸せのかたちを共に探り、作り出す

✿ひとびとの多様な生き方を尊重し、
その人らしい地域の暮らしを共に考える

ソーシャルワーカー

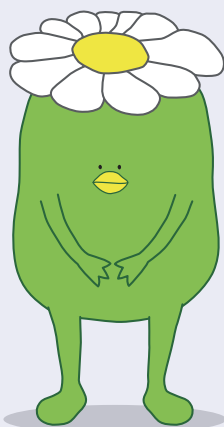
Social Worker

をめざしませんか



相模女子大学人間社会学部
(社会マネジメント学科・人間心理学科)
には、社会福祉士国家試験受験資格が
取得できる課程があります。

一緒に
学ぼう♪



相模女子大学
学園キャラクター
さがっば・ジョー

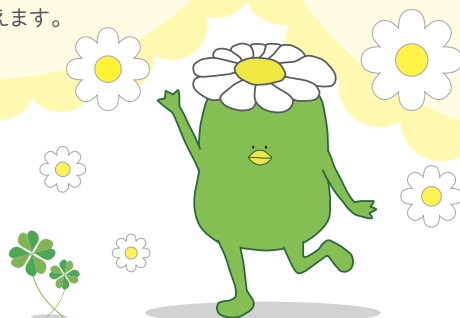
これからの時代に求められるソーシャルワーカーを目指して、 社会福祉士国家試験の受験資格が得られる課程がスタートしました。

Q ソーシャルワーカーって何？

A ソーシャルワーカーと言われても、なんだかピンとこないという人は多いでしょう。ソーシャルワーカーとは、病気や障害、生活状況などさまざまな理由によって、日常生活が困難になった人の相談を受け、安定した生活ができるようにサポートする仕事です。ソーシャルワーカーという名称の資格は日本にはありません。しかし社会福祉の分野のなかで、幅広く包括的に仕事ができる国家資格「社会福祉士」があります。社会福祉士は、ソーシャルワーカーになるために、最もピッタリ当てはまる資格といえます。

Q ソーシャルワーカーにとっていちばん大切なことは？

A ソーシャルワーカーにとっていちばん大切なことはなんでしょう？ソーシャルワーカーは、問題の原因がその人にあるとだけ考えるのではなく、その人の周りにある社会環境や社会制度に着目して、それらをどのように改善したり、活用したりすれば、困難を取り除くことができ、その人が幸せな暮らしを送ることができるか、じっくり考えることが求められます。そのためには、まずは、多様な幸せのかたちを認められる「しなやかな心」と「やわらかな頭」が必要になります。社会福祉や法律の専門知識をもつことも不可欠です。さらに、福祉施設や行政機関など関係機関の人たちと密接なコミュニケーションをとることも、重要な仕事のひとつです。



ねえ、先輩がやってるソーシャルワーカーってどんなお仕事なんですか？

う〜ん、一言でいうのはむずかしいんだけど…。

いろんな悩みを抱える人たちと共に悩み、共に考え、共に行動するってところかなあ。相手は人間だから決まりきったマニュアルはないし、大変だけど、やりがいのある仕事だよ。

私は今、社協(社会福祉協議会)でCSW(コミュニティ・ソーシャルワーカー)として、地域の居場所作りをやっているの。このカフェも社協で仲間を作って始めたんだよ。「社会福祉士」の国家資格をとると、ソーシャルワーカーとして働く場所がぐんと広がるよ。

仕事を通じて、街に住むいろいろな人と知り合いになれるしね。私もずいぶんたくましくなっちゃった！

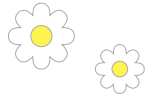
先輩、めっちゃかっこいい〜。私も、ソーシャルワーカー、めざしてみようかな！

めざせ！がっこいい先輩編

秋田県・藤里町社会福祉協議会会長 菊池 まゆみさんに聞く 「ソーシャルワーカー」というお仕事



社会福祉の世界では知る人ぞ知る「時の人」菊池まゆみさんは、秋田県の小さな町、藤里町の社会福祉協議会（社協）でCSW（コミュニティ・ソーシャルワーカー）として働くなかで、それまでなかなか目に見える存在にならなかった多くの引きこもりの若者たちを一軒一軒訪問し、彼らの声に耳を傾けながら、彼らに藤里町の活性化の担い手となってもらうために、さまざまなアイデアを生み出してきた立役者です。社会福祉士と精神保健福祉士、両方の国家資格をもつ菊池さんに、ソーシャルワーカーのお仕事について聞いてみました。



Q1. 「社会福祉協議会」でどんなお仕事をされていますか？

A1. 社会福祉協議会（社協）とは、地域のみなさんと一緒に、地域福祉増進のために、調査や企画、事業の実施を行う組織です。社会福祉法には、地域福祉を推進するために、1つの市町村に1つ、社会福祉協議会を設置するように定められています。

そういうと堅く聞こえますが、私は、地域に住む方々にとっての「福祉の便利屋さん」、「何でも屋さん」になりたいと思っています。小さい町の社協の相談員として、町の人びとのいろいろな困りごとの相談に乗り、解決のために制度やサービスにつなぎ、地域に必要な事業—たとえば、ヘルパーの派遣、居場所作り、高齢者の買物支援などを企画し実施する、こういったことを一つ一つコツコツとやっています。

Q2. ソーシャルワーカーとして働くなかで、菊池さんが一番喜びを感じるのはどのようなときでしょうか？

A2. たとえば、今すぐに目の前の困っている人の助けになれなかったとしても、その人の困りごとを「地域の福祉のニーズ」ととらえて、地域に必要なものは何かと一生懸命考えて、地域の事業を作り上げることができたとしたら、それは、2年後、3年後、4年後…、将来の地域の困りごとの助けになるのではないのでしょうか。私は、社協そしてソーシャルワーカーとは、そんな夢がもてる職場であり仕事だと思っています。そしてそのことが、この仕事の大きな喜びにつながっています。

何年か前に、社会福祉とは何の関係もないある大学が、藤里町に調査に来られました。そのときの話ですが、調査をした人が、藤里町の人たちに「年をとることで不安を感じますか？」と尋ねると、なんと、ほとんどの人が「もちろん不安はあるけれど、藤里町には社協があるから大丈夫」と答えたというのです。

私はそれを聞いたとき、毎日のコツコツとした地道な活動が町の安心につながっていたことを感じて、本当に嬉しかったです。

メッセージ ～ソーシャルワーカーをめざすあなたへ～

ソーシャルワーカーという仕事は、人として女性として生きてすべて、成功も失敗も含めたすべてをキャリアとして積むことができる仕事ではないかと、私はいま実感しています。

年齢を重ねること、出産、子育て、介護などさまざまなできごとは、他の仕事ではマイナスになるかもしれませんが、さまざまな困難を抱えた方に向き合い、常に多面的な視点が求められるソーシャルワーカーの仕事には、自分が経験したことは大きなプラスになると思います。

現在、社会福祉士という国家資格の存在や、ソーシャルワーカーの仕事の認知度はまだそれほど高くないかも知れません。でも、これからいっそう孤立化するであろう現代社会だからこそ、ソーシャルワーカーの仕事がいっそう求められるでしょうし、大学時代に社会福祉士の国家試験に挑戦する価値があると思います。みなさんの挑戦を心から応援します。



菊池まゆみさんが会長を務める、秋田県の藤里町社会福祉協議会では、地域の若者が働ける場・地域の交流の場となる福祉の拠点「こみっと」を作り、『白神まいたけキッシュ』の製造・販売を始めました。

ソーシャルワーカーの可能性を探る ～相模女子大学のゼミでの取り組み～

フィールドワークから問題解決へ

社会マネジメント学科：奥貫妃文ゼミ

社会マネジメント学科、通称「社マネ」は、机の上での学びだけでなく、地域に足を運び、多くのフィールドワークを行います。現代社会にひそむいろいろな問題をすくい上げ、地域に根差した視点で考える・・・それが社マネスタイルです。

私は、労働法と社会保障法が専門ですが、社会福祉士の国家資格をもっており、これまでソーシャルワーカーとして働いた経験があります。その経験を活かして、法律の知識を身につけながら、社会福祉の現場はどのように動いているのか、人びとはどのような悩みや苦しみを抱えているのか、みなさんと議論を重ねながら学ぶ場にしたいと思います。

「熱い心（ハート）と、冷静な頭（知）をもつソーシャルワーカー」をめざして、大学生生活を充実したものにしたいと思うあなた、広大で緑豊かなキャンパスでお待ちしています。



▲現在社会問題となっている「ブラックバイト」の実情について、学内で調査を実施し、岩手大学の河合墨先生のゼミとの合同夏合宿で発表しました。



▲ 古本やCDなどを集めることにより、貧困、障害のある人、難民などを支援する団体への活動資金の寄付につながる「チャリボン」プロジェクト。

福祉現場の「かわいい」を発信！ ものづくりの物語を届けます 人間心理学科：狩野晴子ゼミ

障害者施設で様々な商品が作られていることを知っていますか？かわいいもの、ユニークなもの、おいしいものなど、魅力的な商品がたくさんあります。しかし、その良さがあまり知られていないのが実態です。私たちは、そのたくさんの商品の中から、自分たちが欲しいと思う商品を選んで、その作り手に会いに行き、作っている現場を取材させてもらう活動をしています。

取材で出会った方たちは、とても魅力的な個性の持ち主ばかり。職員の方との間に流れる空気感や施設に漂う雰囲気もそれぞれに異なった良さがあり、味わい深いものでした。この「ものづくりの物語」プロジェクトでは、商品を知ってもらうことはもちろんですが、それ以上に取材で感じた作り手の人柄や場の空気感、いわばものづくりの背景にあるストーリーも一緒に届けることをめざしています。それは、多くの方に障害のことや働く場について知ってもらう機会にしてほしいと考えているからです。まずは楽しいところから、ゆるくつながっていただけたらいいと思い、私たち自身が楽しみながら活動を続けています。

かわいいもの、おいしいものが好きな人、新しい出会いを求めている方、私たちと一緒に活動してみませんか？ 充実した学生生活が待っていますよ！

▼取材先での一コマ。ものづくりや仕事に対する熱い思いにふれることができました。



▲取材結果はその都度instagramにアップしたり、報告書を作成しました。



▲2017年3月に開催した報告会で



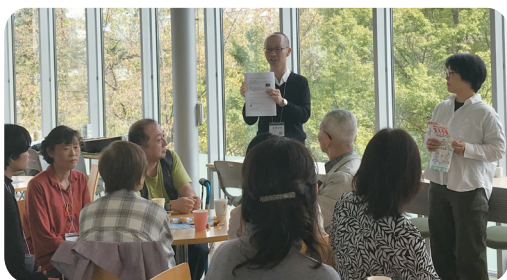


キャンパスでこんなことをやっています

～未来の社会福祉士のために～

さがつばとteatime (認知症カフェ)

「さがつばとteatime」は学内のカフェテリアで開催している認知症について学び、交流する地域の憩いの場です。運営は学生と地域住民の方、地域の社会福祉専門職の方が協力しながら行っています。学生や教員だけではなく、認知症について関心のある地域の方、認知症当事者の方、そのご家族など様々な方が参加して、コーヒーやお菓子を楽しみながら学びや交流を深めています



社会福祉士課程指導室

学生のみなさんが安心して学生生活を送れるように、社会福祉士課程単独の指導室があります。ここには担当教員が常駐し、社会福祉士国家試験のほか、実習や就職のことなど、どんなことでも丁寧にアットホームな雰囲気なかで相談に応じます。また、集中して学習できる自習スペースとしての活用もできます。社会福祉士課程では落ち着いた静謐な学習環境を整え、学生のみなさんを全力で応援します。



社会福祉シンポジウム

毎年1回社会福祉シンポジウムを開催しています。これまで、「こどもの居場所」、「若者の貧困」など人々が大きな関心を寄せるテーマを取り上げてきました。2020年は「若年性認知症と生きていくー住み慣れた街で笑顔で暮らすために」というテーマで、国内外で当事者からの声を発信しつつづけている丹野智文氏を講師にお招きしました。シンポジウムの企画・運営には学生も積極的に携わります。



「ランチョン・ミーティング」

社会福祉士に関心のある学生たちが、気軽に教員やクラスメートと交流できるように、おしゃべりしながら一緒にランチをとる「ランチョン・ミーティング」を月に1回開いています。地域で活動している方をゲストに招いたり、ボランティアの紹介を行ったりすることもあります。少人数ならではのきめの細やかさとアットホームさが本学の持ち味です。



4年間の学び

～少人数で、深く、じっくりと社会福祉について学ぼう～

社会マネジメント学科、および人間心理学科の各カリキュラムに沿って、「社会福祉士国家試験」を受験するために、次のような科目を学びます※。
どちらの学科に入学しても、受験資格が同様に得られます。

— 社会福祉士課程の履修科目 —

1年次 社会福祉の 基礎から学び始めます。	2年次 課程の履修選考、 1回目の実習があります。	3年次 2回目の実習を行い、 福祉の現場を体験します。	4年次 国家試験受験への 準備を進めます。
第1セメスター	第3セメスター	第5セメスター	第7セメスター
<ul style="list-style-type: none"> 心理学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉の原理と政策Ⅱ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ 社会保障法Ⅰ 障害者福祉 ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ ソーシャルワーク演習（基礎） 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ 福祉サービスの組織と経営 保健医療と福祉 刑事司法と福祉 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅱ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士試験対策講座Ⅰ
第2セメスター	第4セメスター	第6セメスター	第8セメスター
<ul style="list-style-type: none"> 人体の構造と機能及び疾病 社会学と社会システム 社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会調査法概論 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障法Ⅱ 児童・家庭福祉 生活保護制度 高齢者福祉 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ 権利擁護を支える法制度 ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉士試験対策講座Ⅱ

※文部科学省・厚生労働省令に定める指定科目を履修・修得することが必要です。

〈履修の流れ〉

- 社会福祉やソーシャルワーカーの仕事に関する知識や技術を、1年次から段階的に学んでいきます。
- 2年次夏に、課程履修の選考が行われます（定員制）。
- 2年次春、3年次夏には、関係機関・施設で実習を行います。
- 4年次冬に、国家試験を受験することを目標に学習を進めていきます。
（国家試験は例年、2月上旬に行われ、3月中旬に合格発表があります。）

ソーシャルワーカーは、
将来さらに活躍の場が
広がることが期待
されている職業です。

ソーシャルワーカーのしごと ～主な就職先～

- 高齢者、児童、障害のある人などの福祉施設
- 医療機関（総合病院・クリニック）
- 県庁、市役所、区役所などの地方公共団体
- 小学校・中学校・高等学校
- 市町村の社会福祉協議会（社協）

私たち、社会福祉士として地域で働いています！

社会福祉法人 県央福祉会
相模原市立上九沢身体障害者デイサービスセンター
支援員 **本莊 亜佑美さん** (2020年3月人間心理学科卒業)



私は、社会福祉士課程を経て身体障害者のデイサービスで支援員として働いています。身体障害者のデイサービスと聞くと仕事内容がイメージしにくいかもしれません。仕事内容は主に入浴や排泄、食事等の日常生活に関わる介助です。利用者さんとコミュニケーションをとりながら、利用者さんの生活が充実するためのお手伝いをしています。

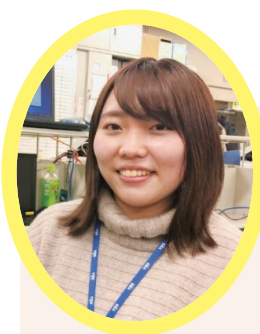
私が働く施設の利用者さんは気持ちを伝えることが難しかったり、身体機能を十分に使うことが難しい方が多いため、つい何事も私がやってあげようという気持ちになりがちです。しかしそれは利用者さんのためにはなりません。この利用者さんは何ができるのか、何がしたいのか、どうすれば利用者さんは気持ちを伝えられるかを考え続け、利

用者さんのできる力を奪わないことも支援のひとつだと考え仕事に励んでいます。できる力は利用者さんの強みでもあります。強みは福祉の専門用語では「ストレングス」といい、社会福祉士課程で学ぶなかで何度も出てくる言葉です。学生時代は様々な専門知識を身につけることができました。そしてその知識を元に福祉現場で働くことで、「ストレングス」を奪わないための支援とはどういうものだろうかと考えながら実践することができました。

社会福祉士課程では大学生時代に座学や学生同士の話し合い、福祉現場での実習など多角的な視点から福祉の基礎を学ぶことができます。この福祉の基礎を現場で実践することで、より良い支援に活かされてくるのではないかと感じています。



社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団
横浜市総合リハビリテーションセンター 総合相談部 相談調整課
ソーシャルワーカー **西中間 美羽さん** (2020年3月人間心理学科卒業)



私は現在、横浜市総合リハビリテーションセンターでソーシャルワーカーとして働いています。

現在所属している部署は相談部門になり、主に電話や面接で子どもの発達に関する相談を受けています。ご相談内容は子どもの発達のご相談をはじめとして、幼稚園や保育園選びの視点、ご家族のこと、福祉制度についてなど、実に多岐に渡ります。面接では、お話をうかがうなかで必要な支援やサービスを親御さんと一緒に考え、今後の方針

を決めるお手伝いをしています。また必要に応じて関係機関と連携し、お子さんがご家庭や地域集団で安心して過ごせるよう調整を行っています。

ソーシャルワーカーという仕事は自分だけで解決していくのではなく、他職種や関係機関との連携が求められます。そのため、自分だけで抱えこまず、誰かに相談する力が必要になります。社会福祉士課程の勉強はもちろんですが、普段から誰かに相談することを意識し身につけておくと、今後の仕事にも役立つと思います。

制度の知識だけでなく、臨機応変な対応や柔軟な思考も求められる仕事で、私も先輩職員に相談する毎日です。親御さんにこの人になら話したい、相談したい、と安心して思っただけのようなソーシャルワーカーをめざしています。

地域へ、社会へ、行政へ。
今、ソーシャルワーカーの活躍のフィールドは
さらなる広がりを見せています。

いろんな職場が
あるんだね～

さまざまな 福祉施設

高齢・児童・障害の
ある人など

行 政

福祉事務所・児童相談所
ハローワークなど

NPO法人

病 院

MSW/
メディカル・ソーシャルワーカー

学 校

SSW/
スクール・
ソーシャルワーカー

独立型 社会福祉士

地域包括支援 センター

社会福祉 協議会〔社協〕

CSW/
コミュニティ・
ソーシャルワーカー

社会福祉士

ソーシャルワーカー

Social Worker

社会福祉士は
私たちの
すぐ近くに
いるんだね。



Sagami Women's University

相模女子大学

見学・入試に関する
お問い合わせ

相模女子大学 大学事務部 入試課
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1
[フリーダイヤル] 0120-816-332 [Tel] 042-749-5533 [Fax] 042-742-1732
[大学ウェブサイト] <http://www.sagami-wu.ac.jp> [e-mail] kouhou@isc.sagami-wu.ac.jp
小田急「相模大野」駅下車徒歩約10分